

## 2. 專門基礎分野

## 1) 専門基礎分野構築の考え方

専門基礎分野は、看護学を学ぶために必要な基礎知識と科学的な根拠に基づいた看護実践に向けて必要な基礎的専門知識を習得できるよう構築した。

教育内容は、(1)人体の構造と機能、(2)疾病の成り立ちと回復の促進、(3)健康支援と社会保障制度の三つの内容から構成されている。

「人体の構造と機能」では、人体機能構造論Ⅰ～Ⅴで人体の構造と機能を系統立てて学び、人間の生命現象について理解し、臨床判断能力が修得できるように設定した。人体機能構造論ⅤはⅠ～Ⅳまでの学びを統合させ、人間の生命活動や行動における人体の構造と機能を理解し説明できるような課題学習とした。

生化学では、化学物質の性状と代謝の仕組み・代謝産物の排泄の仕組みについての理解、それと同時に栄養学を加えて生命現象と関連付けて栄養療法の理解が得られるように設定した。

「疾病の成り立ちと回復の促進」では、人体の諸機能の障害されている部分の病態を理解し、障害部位の回復を促進するために必要な検査・治療・処置を系統別に学ぶため、疾病治療論Ⅰ～Ⅵを設定した。薬理学Ⅰ・Ⅱでは基礎的な薬理作用や薬物について学び、微生物学では微生物が人体に与える影響を知り感染予防についても理解が深められるように設定した。

「健康支援と社会保障制度」では、保健医療論で保健・医療の原点及び包括的な医療のあり方と社会全体の保健・医療システムを学習すると同時に学習方法としてプロジェクト学習を実施する。公衆衛生学では、環境や日本の健康政策との関連から、健康の保持・増進の為の取り組みを学ぶ。関係法規では、医療・看護に関する法の基礎的知識を学び、医療従事者としての法的責任が自覚できることをねらいとした。社会保障と社会福祉では人権を尊重しそれを保障する施策と活動を学び、他の医療・保健・福祉との連携のあり方が理解できるように設定した。

2) 専門基礎分野の構成と科目のねらい

教育内容	科目名	単位数 (時間数)	ねらい
人体の構造と機能	人体機能構造論Ⅰ	1単位 (30時間)	人体を構成する細胞と組織、人体の指示と運動(骨・筋肉)の機能と構造、神経系の機能と構造について理解する。
	人体機能構造論Ⅱ	1単位 (30時間)	生命現象の基本となる血液の組成、循環と呼吸の機能と構造を理解する。
	人体機能構造論Ⅲ	1単位 (30時間)	生命現象の基本となる栄養の消化と吸収、感覚器、皮膚や体温調整の機能と構造を理解する。
	人体機能構造論Ⅳ	1単位 (30時間)	体液の調節と尿の生成、内分泌系による調節の機能と構造、人間存続に必要な生殖・発生と老化に関する機能と構造を理解する。
	人体機能構造論Ⅴ	1単位 (15時間)	I～IVで学んだ知識を活用し、人間が生活するうえでの行動(食べたものが栄養になる、不要なものが排泄される、吸った息が酸素として運搬される等)に関係する各器官の構造と機能を統合させてプレゼンテーションすることで理解を深める。
	生化学	1単位 (15時間)	人体を構成している内部環境である化学物質の性状・その分布及び代謝のしくみについて理解する。
	栄養学	1単位 (15時間)	人体の栄養摂取機構について学び、健康障害時の食事療法の基本を学ぶ。
疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論Ⅰ	1単位 (15時間)	人体の諸機能の障害されている部分についての生命現象の基礎的知識と基本的な病態を理解する。
	疾病治療論Ⅱ	1単位 (30時間)	呼吸器・循環器疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅲ	1単位 (30時間)	消化器・血液・造血・自己免疫・アレルギー疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅳ	1単位 (30時間)	内分泌・代謝、腎・泌尿器・男性生殖器、皮膚、精神疾患の病態生理及び検査治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅴ	1単位 (30時間)	脳・神経、運動器疾患および、耳鼻咽喉疾患、眼疾患の病態生理及び検査・治療・予防法を理解する。
	疾病治療論Ⅵ	1単位 (30時間)	女性生殖器の疾患、新生児・小児の異常・疾患について理解する。
	薬理学Ⅰ	1単位 (15時間)	主な薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解する。
	薬理学Ⅱ	1単位 (30時間)	種々の疾患の治療と予防のために用いられる主な医薬品の生体への薬理作用と看護への活用について理解する。
	微生物学	1単位 (30時間)	病原微生物の特徴と人体への影響を知り、病原微生物の感染予防方法を理解する。
社会保障制度と生活者の健康	保健医療論	1単位 (30時間)	保健、医療の原点について学び、現在の保健・医療の在り方や問題点に気づき、地域における包括的な保健、医療、社会全体の人々の健康を守るシステムを理解する。自ら疑問をもち解決し、提案する。
	公衆衛生学	2単位 (45時間)	健康と環境の関連性についての認識を深め、集団の健康を維持するための基本的知識を理解する。 人間集団の健康を守るための公衆衛生活動の具体的な活動を理解する。
	関係法規	1単位 (30時間)	医療・看護に関する主な法規について学び、医療従事者としての法的責任の基本を理解する。
	社会保障と社会福祉	2単位 (45時間)	国民の生存権を保障するための社会的な施策および活動について理解する。 社会福祉制度の最近の動向を踏まえて、看護と福祉関連領域との連携のあり方を理解する。

2.専門基礎分野－3) 教授内容

## (1) 人体の構造と機能

授業科目	人体機能構造論 I	講師名	前川正夫	単位	1 単位	時期	1 年次前期
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 人体を構成する組織と骨、筋肉の機能と構造について理解できる。 2. 生命を保つための神経系の機能と構造について理解できる。 3. 自律神経の構造と機能について理解できる。 4. 人間の身体についての的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	人体の構成	講義	前川
2	1. 人体の構造と機能（解剖学と生理学）とは		
3	2. 人体の構造と機能を学ぶ基礎知識 1) 人体の構造と区分 2) 細胞と組織 3) 機能から見た人体		
4	3. 人体の支持と運動		
5	1) 骨の構造と機能		
6	2) 筋の構造と機能		
7	4. 体表から見た人体の機能		
8	1) 体表から触知できる骨格部分 2) 体表から触知できる大きな筋		
9	5. 神経系の構造と機能		
10	6. 脊髄と脳		
11	7. 脊髄神経と脳神経		
12	8. 運動機能と下行伝導路		
13	9. 感覚機能と上行伝導路		
14	10. 自律神経の機能と構造		
15	筆記試験		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 坂井建夫他：系統看護学講座，専門基礎分野，解剖生理学，人体の構造と機能①，医学書院，2021. 2. 江連和久他：看護学生のための解剖生理，メヂカルフレンド社第 2 版，2014.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	

授業科目	人体機能構造論 Ⅱ	講師名	荒井興夫	単位	1 単位	時期	1 年次前期
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 全身を循環する血液の組成と機能が理解できる 2. 心臓から送り出された血液が全身を巡り、再び心臓に戻ってくる血液循環と、その循環を担う心臓の構造と機能、血圧・血流量の調節について理解できる。 3. 人間の身体についての確かなアセスメントができるために必要な情報を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 血液の構造と機能	講義	荒井
2	1) 血液の組成と機能		
3	赤血球・白血球・血小板		
4	2) 血漿タンパク質と赤血球沈降速度		
5	3) 血液の凝固と繊維溶解		
6	4) 血液型		
7			
8	2. 血液の循環と心臓の調節		
9	1) 血液の循環とその調節		
10	(1) 循環器系の構成		
11	(2) 心臓の構造		
12	(3) 心臓の拍出機能		
13	(4) 末梢循環系の構造		
14	(5) 血液の循環の調節 (6) リンパとリンパ管		
	2) 体表から見た人体の機能 (1) 体表から触知できる動脈 (2) 体表から到達できる静脈		
15	筆記試験		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 坂井建夫他：系統看護学講座，専門基礎分野，解剖生理学，人体の構造と機能①，医学書院，2021. 2. 江連和久他：看護学生のための解剖生理，メヂカルフレンド社第 2 版，2014.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	

授業科目	人体機能構造論 Ⅲ	講師名	荒井興夫	単位 時間	1 単位 30 時間	時期	1 年次前期
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 呼吸がどのようにして行われているのか、その構造と機能を理解できる。 2. 食べる、そして食べたものを消化して吸収する、その消化器系の構造と機能をできる。 3. 生体内外の環境の変化を、感覚器が受容し、必要な情報を神経系に送る。その感覚器の機能と構造について理解できる。 4. 人間の身体についての確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 呼吸のしくみ	講義	荒井
2	1) 呼吸器の構造と機能		
3	2) 呼吸		
4	(1) 内呼吸と外呼吸		
5	(2) 呼吸器と呼吸運動		
	(3) ガス交換		
	(4) 肺の循環と血流		
	(5) 呼吸運動の調節		
	(6) 呼吸器系の病態生理		
6	2. 栄養の消化と吸収		
7	2) 栄養の消化と吸収		
8	(1) 口・咽頭・食道の構造と機能		
9	(2) 腹部消化管の構造と機能		
10	(3) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
	(4) 腹膜		
11	3. 感覚器		
12	1) 感覚器の構造と機能		
13	(1) 眼の構造と視覚		
14	(2) 耳の構造と聴覚・平衡感覚		
	(3) 味覚と嗅覚		
	(4) 痛み（疼痛）		
15	筆記試験		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 坂井建夫他：系統看護学講座，専門基礎分野，解剖生理学，人体の構造と機能①，医学書院，2021. 2. 江連和久他：看護学生のための解剖生理，メヂカルフレンド社第 2 版，2014.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	

授業科目	人体機能構造論 IV	講師名	久保 房子	単位	1 単位	時期	1 年次前期
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師				
科目目標 1. 外部環境からの攻撃より身体を守っている皮膚や生体防御機構のしくみを理解できる。 2. 体内に含まれる水と電解質の量とそのバランスを調節している腎臓のはたらきが理解できる。 3. 生体内外の環境の変化に応じて様々な臓器の機能状態を変化させているホルモン（と自律神経）のはたらきについて理解できる。（自律神経はIで学修） 4. 生命の継続を可能にする生殖のメカニズムと、身体の変化（成長と老化）について理解できる。 5. 人間の身体についての的確なアセスメントができるために必要な情報を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授業内容	方法	担当
1	1. 身体機能の防御と適応	講義	久保
2	1) 外部環境からの防御		
3	(1) 皮膚 (2) 生体の防御機構 (3) 代謝と運動 (4) 体温とその調節		
4	2. 体液の調節と尿の生成		
5	1) 腎臓		
6	2) 排尿路 3) 体液の調節		
7	3. 内分泌機能		
8	1) 内臓機能の調節		
9	(1) 内分泌系による調節		
10	(2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞		
11	(3) ホルモン分泌の調節 (4) ホルモンによる調節の実際		
12	4. 生殖機能および発生と老化		
13	1) 生殖・発生と老化の仕組み		
14	1) 男性生殖器 2) 女性生殖器 3) 受精と胎児の発生 4) 成長と老化		
15	筆記試験		



テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 坂井建夫他：系統看護学講座, 専門基礎分野, 解剖生理学, 人体の構造と機能①, 医学書院, 2021. 2. 江連和久他：看護学生のための解剖生理, メヂカルフレンド社第 2 版, 2014.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	

授業科目	人体機能構造論 V	講師名	和気実奈子		単位	1 単位	時期
			時間	15 時間	1 年次後期		
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	看護師				
科目目標 1. 人体機能構造論 I～IV で学んだ知識を活用し、人間が生活するうえでの人体の機能・構造を統合させて理解する。 2. 課題について発表し、他者に伝え、意見交換することで学びを深める。 3. 臨床判断に役立てられる知識の学び方を修得する。 4. 解剖を見学し、人間の身体（骨・臓器・器官）を全体として関連させて理解する。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	1. 解剖見学	見学 レポート	和気
2	獨協医科大学にて解剖見学		
3	2. 人間の生活の視点から見た人体の機能と構造	個人学習 グループ学習	
4			
5	学習進度に合わせた課題数題から、グループで1テーマを		
6	選択し、計画的に個人学習とグループでの共有をする。 個人学習のポートフォリオを作成する。		
	課題例：吸った息はどのように体をめぐり、細胞にとどき、代謝され吐き出されるか 課題例：内臓は私たちの意図とは関係なく、体の内部からの情報に基づいて対応しています。この調節をしている自律神経はどこに分布しどのような働きをしているのか		
7	プレゼンテーション	発表	
8	追加、修正		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 坂井建夫他：系統看護学講座，専門基礎分野，解剖生理学，人体の構造と機能①，医学書院，2021。 2. 江連和久他：看護学生のための解剖生理，メヂカルフレンド社第2版，2014。
評価の方法	ルーブリックによる評価(100点) (取り組み姿勢、学習内容ポートフォリオ、プレゼンテーション力、修正力) 自己の取り組みの振り返り 自己の成長と課題
アドバイス ・その他	本科目は、これまで主に臓器および系統ごとに学習した内容を人間の生活を考えた人体の機能・構造として統合させる科目である。他者に説明することで自己の知識の確実性を高められる。看護実践の場面で患者に説明することに大いに役立つ科目である。

授業科目	生化学	講師名	古田裕明	単位	1 単位	時期	1 年次前期
				時間	15 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 人体を構成する生体分子の構造と機能について理解できる 2. 人体の代謝の仕組みを理解し、疾患との関連性についても理解できる							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	生体分子(糖質, 脂質, タンパク質, 核酸)について	講義	古田
2	酵素とビタミン		
3	糖質代謝		
4	脂質代謝		
5	アミノ酸, タンパク質代謝		
6	ポルフィリン代謝および核酸代謝		
7	遺伝情報とホルモン		
8	筆記試験		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 畠山鎮次：系統看護学講座 専門基礎分野 生化学, 人体の構造と機能②, 医学書院, 2021.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	学習の基本として、予習・復習を継続する事。質問は適宜いつでも、E-mail ならば毎日 24h 可能

授業科目	栄養学	講師名	古田裕明	単位	1 単位	時期	1 年次後期
				時間	15 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 日本人の食生活や栄養状態の現状をふまえて、健康と栄養の関連について理解できる。 2. 健康の維持、増進、回復に必要な栄養管理および健康レベルに応じた食事摂取方法について理解できる。 3. 健康状態と栄養状態に関する的確なアセスメントができ、それに必要な情報を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	臨床栄養学の意義	講義	古田
2	食品の成分, ビタミン, ミネラル		
3	食事摂取基準, エネルギー必要量と算出法, 栄養アセスメント		
4	運動と栄養		
5	人生各期の健康生活と栄養		
6	検査と食事, 治療と食事		
7	経管栄養法と高カロリー輸液法		
8	筆記試験		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 關戸啓子：ナーシング・グラフィカ疾病の成り立ち④，臨床栄養学，メディカ出版 2021.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	学習の基本として，予習・復習を継続する事。質問は適宜いつでも，E-mail ならば毎日 24h 可能。

2.専門基礎分野－3) 教授内容

## (2) 疾病の成り立ち と回復の促進

授業科目	疾病治療論 I	講師名	黒須 明	単位	1 単位	時期
				時間	15 時間	
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	医師		
科目目標 1. 病理学の基本的概念が理解できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 病理学とは・先天異常 1) 看護と病理学 2) 病気の原因 3) 疾病の分類 2. 先天異常と遺伝子異常 1) 遺伝子異常・疾患・診断 2) 染色体異常・疾患・診断	講義	黒須
2	3. 代謝障害 1) 細胞の損傷と適応 2) 物質沈着 3) 代謝障害と疾患		
3	4. 循環障害 1) 局所性の循環障害 2) 全身性の循環障害 3) リンパの循環障害		
4	5. 炎症 1) 炎症とは 2) 炎症の各型		
5	6. 免疫、移植と再生医療 1) 免疫 2) アレルギーと自己免疫疾患 3) 膠原病 4) 移植と免疫		
6	7. 腫瘍 1) 腫瘍の定義と分類 2) 腫瘍の発生病理 3) 転位と進行 4) 診断・治療		
7	8. 老化と死 1) 細胞の老化と固体の老化 2) 変化 3) 死		
8	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 大橋健一他：系統看護学講座 専門基礎分野, 疾病のなりたちと回復の促進①, 病理学, 第 5 版, 医学書院, 2020.
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	

授業科目	疾病治療論 Ⅱ	講師名	1 鈴木史江 中田哲也 菅沼良恵 2 天摩久美子 須藤ゆかり		単位 1 単位	時期 1 年次通年
			時間 30 時間			
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師		
科目目標 1. 呼吸器疾患の病態生理と治療・検査について理解できる。 2. 循環器疾患の病態生理と治療・検査について理解できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 呼吸器 1) 呼吸器疾患の症状と病態生理 (1) 自覚症状 ① 喀痰 ② 血痰 ③ 咯血 ④ せき ⑤ その他	講義	鈴木
2	(2) 他覚症状 ① チアノーゼ ② ばち指 ③ 発熱 ④ 喘鳴 ⑤ 呼吸の異常 ⑥ その他		
3	2) 呼吸器疾患の検査と治療・処置 (1) 診察と診断の流れ (2) 検査 ① 血液検査 ② 喀痰検査 ③ 胸水検査 ④ 画像診断 ⑤ 内視鏡検査 ⑥ 生検 ⑦ 肺機能検査		
4	3) 治療・処置 (1) 吸入療法(2) 酸素療法(3) 人口呼吸療法(4) 呼吸理学療法 (5) 気道確保(6) その他	講義	中田
5	4) 呼吸器疾患の理解 (1) 感染症 (2) 間質性肺炎 (3) 気道疾患 (4) 肺血栓・塞栓症	講義	鈴木
6	(5) 呼吸不全 (6) 呼吸調整に関する疾患 (7) 肺腫瘍 (8) 肺・血管の形成異常		
7	(9) 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 (10) 肺移植 (11) 胸部外科	講義	菅沼
8	2. 循環器 1) 循環器疾患の症状とその病態生理 (1) 胸痛 (2) 動悸 (3) 呼吸困難 (4) 浮腫 (5) チアノーゼ (6) 失神 (7) 四肢の疼痛 (8) ショック	講義	天摩
9	2) 循環器疾患の検査と治療・処置 (1) 診察と診断の流れ		
10	(2) 検査: ① 心電図 ② 胸部 X 線撮影 ③ 心エコー ④ 心臓カテーテル ⑤ その他 (3) 治療・処置 ① 内科的治療について ② 外科的治療について ③ 補助循環装置		



11	3) 循環器疾患の理解 (1)虚血性心疾患 (2)心不全 (3)血圧異常 (4)不整脈 (5)弁膜症 (6)心膜炎 (7)心筋疾患 (8)肺性心 (9)先天性心疾患 (10)動脈系疾患 (11)静脈系疾患 (12)リンパ系疾患 (13)高脂症	講義	須藤
12			
13			
14			
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1.呼吸器 川村雅文他：系統看護学講座 成人看護学2呼吸器第15版, 医学書院, 2019. 2.循環器 吉田敏子他：系統看護学講座 成人看護学3循環器第15版, 医学書院, 2019.		
評価の方法	筆記試験	100%	
	1.呼吸器	50%	(鈴木 30点・中田 10点・菅沼 10点) 45分
	2.循環器	50%	(天摩 25点・須藤 25点) 45分
アドバイス ・その他			

授業科目	疾病治療論 Ⅲ	講師名	1 久保 房子	単位 1 単位	時期 1 年次通年
			2 佐藤 優子	時間 30 時間	
実務経験のある 講師による授業科目			○	実務経験	看護師
科目目標 1. 消化器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2. 血液・造血、自己免疫・アレルギー疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1 2	1. 消化器 1) 消化器疾患の症状と病態生理 (1) 消化器疾患の症状とその病態生理 ①嚥下困難 ②嘔吐 ③腹痛 ④吐血・下血 ⑤便秘 ⑥その他 (2) 肝臓疾患の症状とその病態生理 ①腹水 ②黄疸 ③門脈圧亢進 ④肝性脳症	講義	久保
3 4 5	2) 消化器疾患の検査と治療・処置 (1) 診察と診断の流れ (2) 検査 ①胃液・十二指腸液検査 ②肝機能検査 ③放射線検査 ④内視鏡検査 ⑤肝生検 ⑥その他 (3) 治療・処置 ①薬物療法 ②食事療法 ③手術療法 ④放射線療法		
6 7 8	3) 消化器疾患の理解 (1) 食道の疾患、 (2) 胃・十二指腸疾患、 (3) 腸および腹膜疾患 (4) 肝臓・胆嚢の疾患 (5) 膵臓の疾患 (6) 急性腹症 (7) 腹部外傷		
9 10 11	2. アレルギー/膠原病 1) アレルギー疾患/膠原病 (1) 免疫の仕組みとアレルギー (2) 自己免疫疾患とその機序 (3) 症状と病態生理 (4) 検査と治療 (5) 主な疾患	講義	佐藤
12 13 14	3. 血液 1) 血液造血器疾患 (1) 主な症状と病態生理 (2) 主な検査・治療・処置 (3) 主な疾患	講義	山咲
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器) 南川雅子他：成人看護学 5 消化器 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2019.</li> <li>2. アレルギー・膠原病) 岩田健太郎他：成人看護学 11 アレルギー・膠原病・感染症、系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2020.</li> <li>3. 血液) 飯野京子他：成人看護学 4 血液・造血器 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2019.</li> </ol>
評価の方法	<p>筆記試験 100%</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器：60点 60分</li> <li>2. アレルギー・膠原病：20点 15分</li> <li>3. 血液 20点：15分</li> </ol>
アドバイス ・その他	

授業科目	疾病治療論 IV	講師名	1. 園田 好美	単位 1 単位	時期 1 年次後期
			2. 大島 由喜		
			3. 正林 愛	時間 30 時間	
			4. 石川 文徳		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師・医師	
科目目標 1. 内分泌・代謝疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2. 腎・泌尿器、男性生殖器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 3. 皮膚疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 4. 精神科疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 内分泌・代謝 1) 内分泌・代謝疾患の検査 (1) 内分泌疾患の検査 (2) 代謝疾患の検査	講義	園田
2	2) 内分泌・代謝疾患の理解 (1) 内分泌疾患 ①視床下部系疾患 ②甲状腺疾患 ③副甲状腺疾患 ④副腎疾患 ⑤性腺疾患 ⑥内分泌腫瘍		
3	(2) 代謝疾患 ①糖尿病 ②高脂血症 ③肥満症 ④尿酸代謝障害		
4	2. 腎・泌尿器 1) 腎泌尿器疾患の症状と病態生理 (1) 尿の異常 (2) 排尿の異常 (3) 浮腫 (4) 脱水 (5) 高血圧 (6) 水と電解質の異常 (7) その他	講義	大島
5	2) 泌尿器疾患の検査と治療 (1) 診察 (2) 検査 ①尿の検査 ②X線検査 ③経尿道的操作・内視鏡検査 ④生検 ⑤精液・分泌物の検査 (3) 治療 ①血液透析 (HD) ②腹膜透析 (PD) ③腎移植		
6	3) 腎・泌尿器疾患の理解 (1) 腎不全 (2) 糸球体腎炎 (3) 全身性疾患による腎障害 (4) 尿路・性器の感染症 (5) 尿路の通過障害と機能障害		
7	(6) 尿路結石 (7) 尿路・性器の腫瘍 (8) 男性不妊症・男性性 機能障害・その他の男性生殖器疾患 (9) その他		

8	3. 皮膚	講義	正林
9	1) 皮膚疾患 (1) 症状と病態生理 (2) 検査と治療 (3) 主な疾患		
10	4. 精神	講義	石川
11	1) 精神の主な疾患		
12	(1) さまざまな精神症状 (2) 精神障害の診断と分類 (3) 主な疾患		
13	2) 精神科の治療		
14	(1) 精神療法 (2) 環境療法・社会療法・リエゾン精神医学		
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内分泌) 吉岡成人他：成人看護学 6 内分泌・代謝 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2019.</li> <li>2. 腎・泌尿器) 大東貴志他：成人看護学 8 腎・泌尿器 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2019.</li> <li>3. 皮膚) 渡辺晋一他：成人看護学 12 皮膚 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2020.</li> <li>4. 精神) 武井麻子他：精神看護学 [1] 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2021.</li> <li>5. 精神) 武井麻子他：精神看護学 [2] 精神看護の展開，系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2021.</li> </ol>
評価の方法	<p>筆記試験 100%100 点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内分泌 20 点 20 分、2. 腎泌尿器 30 点 30 分、</li> <li>3. 皮膚 15 点 15 分、4. 精神 35 点 40 分</li> </ol>
アドバイス ・その他	

授業科目	疾病治療論 V	講師名	1. 星川智也 2. 大沼広樹 渡邊悠児 藤田裕明	単位 1 単位	時期 1 年次後期	
			3. 平林秀樹 4. 石井洋次郎	時間 30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	医師・看護師		
科目目標 1. 運動器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2. 脳・神経疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 3. 感覚器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。						

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1 2 3 4	1. 運動器 1) 運動器疾患の症状と病態生理 (1) 疼痛 (2) 形態の異常 (3) 関節運動の異常 (4) 異常歩行または跛行 (5) 神経の障害 2) 運動器疾患の診断と治療・処置 (1) 診察・診断の流れ (2) 検査 ①画像診断 ②関節鏡検査 ③その他 (3) 治療・処置 ①保存療法 ②理学療法と作業療法 ③手術療法 ④義肢と装具 3) 運動器疾患の理解 (1) 先天性疾患 (2) 骨折 (3) 脱臼 (4) 捻挫および打撲 (5) 骨関節の炎症性疾患 (6) 筋および腱の疾患 (7) 麻痺性疾患 (8) 脊椎の疾患 (9) その他の疾患	講義	星川
5 6	2. 脳・神経 1) 脳・神経疾患の症状と病態生理 (1) 意識障害 (2) 高次脳機能障害 (3) 運動機能障害 (4) 感覚機能障害 (5) 反射性運動の障害 (6) その他 2) 脳・神経疾患の診断と治療・処置 (1) 検査 ①神経学的検査 ②補助的検査法 (2) 外科的治療法 (3) 3. 内科的治療法	講義	大沼
7 8	3) 脳・神経疾患の理解 (1) 末梢神経疾患 (2) 神経・筋疾患 (3) 脳・神経系の感染症 (4) 中毒 (5) てんかん (6) 痴呆	講義	渡邊
9 10	(7) 脳疾患 (8) 脊髄疾患	講義	藤田

11	3. 耳鼻咽喉	講義	平林
12	1) 耳鼻咽喉疾患 (1) 症状と病態生理 (2) 検査と治療 (3) 主な疾患		
13	4. 眼		
14	1) 眼疾患 (1) 症状と病態生理 (2) 検査と治療 (3) 主な疾患	講義	石井
15	筆記試験 ( 90 分 )		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <p>1. 運動器) 田中栄他：成人看護学 10 運動器 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2019.</p> <p>2. 脳・神経) 井出隆文他：成人看護学 7 脳・神経 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2019.</p> <p>3. 耳鼻咽喉) 小松浩子他：成人看護学 14 耳鼻咽喉 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2020.</p> <p>4. 眼) 大鹿哲郎他：成人看護学 13 眼 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院, 2020.</p>
評価の方法	<p>筆記試験 100% 100点</p> <p>1. 運動器 30点 (27分)、2. 脳神経 40点 (36分)、3. 耳鼻咽喉 15点 (14分)、4. 眼 15点 (14分)</p>
アドバイス ・その他	

授業科目	疾病治療論 VI	講師名	1. 黒崎 元之 2. 天海 裕子	単位 1 単位 時間 30 時間	時期 2 年次前期
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	医師・看護師		
科目目標 1. 新生児を含む、小児特有の疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。 2. 女性生殖器疾患の病態生理・治療・検査について理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	1. 小児 小児特有の疾患・病態・治療 1. 代謝性疾患・内分泌疾患	講義	黒崎
2	2. 感染症・免疫・アレルギー疾患		
3	3. 循環器・呼吸器疾患		
4	4. 消化器疾患・腎・泌尿器疾患		
5	5. 血液・造血器疾患・悪性新生物		
6	6. 神経・筋・運動器疾患		
7	7. 小児の感覚器疾患		
8	8. 精神疾患・こども虐待		
9	2. 女性生殖器 女性生殖器疾患の主要症状とその病態生理および主な検査 1. 主要症状とその病態生理 2. 主要な検査	講義	天海
10	女性生殖器疾患の主な処置および治療 3. 主要な処置 4. 主要な治療の原理とその実際		
11	女性生殖器疾患の病態生理と検査および治療		
12	5. 主な疾患の理解		
13	(疫学的特徴・病態生理・検査・治療・合併症・予後)		
14			
15	筆記試験 ( 90 分 )		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 小児：奈良間美保他：小児看護学 1 小児看護学概論・小児臨床看護総論 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2020. 奈良間美保他：小児看護学 2 小児臨床看護各論 系統看護学講座 専門Ⅱ，医学書院，2020. 2. 女性生殖器：末岡浩他：成人看護学 9 女性生殖器 系統看護学講座 専 門Ⅱ，医学書院，2019.
-------	---



評価の方法	筆記試験 100% 100点 (小児 50点 45分 女性生殖器 50点 45分)
アドバイス ・その他	

授業科目	薬理学 I	講師名	林啓太郎	単位	1 単位	時期	1 年次後期
				時間	15 時間		
実務経験のある講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 疾病に対する薬理作用の特徴作用機序、人体への影響を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	薬理学総論	講義	林
2	1. 薬理学の概論		
3	1) 薬理学とはなにか		
4	2) 薬物療法の目的		
	3) 薬理作用と作用機序		
	4) 薬物動態と薬効		
	5) 副作用と有害作用		
	6) 薬物相互作用		
	7) 毒		
	8) 薬物療法に影響を与える因子		
	9) 薬物送達システム		
	10) 新薬の開発		
	11) 医薬品の安全な使用		
5	2. 小児、妊婦、高齢者の薬物治療		
	1) 小児		
	2) 妊婦		
	3) 高齢者		
6	3. 医薬品の管理		
7	1) 医薬品と法規		
	2) 医薬品の管理と取り扱い		
	3) 処方箋と調剤		
	4) 医薬品添付文書		
8	筆記試験 ( 45 分 )		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 吉岡充弘他：疾病のなりたちと回復の促進 3 薬理学 系統看護学講座 専門基礎，医学書院，2018. 2. 井上智子他：臨床薬理学 系統看護学講座 別巻，医学書院，2017.
評価の方法	筆記試験 100% 100 点 (45 分)
アドバイス ・その他	

授業科目	薬理学Ⅱ	講師名	林啓太郎	単位	1 単位	時期	2 年次前期
				時間	30 時間		
実務経験のある講師による授業科目			実務経験				
科目目標 1. 治療に使用される主な薬物の作用・副作用を理解できる。 2. 薬物治療時の観察点と管理方法を理解できる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	薬理学各論	講義	林
2	1. 末梢神経系作用薬		
3	2. 中枢神経系作用薬		
4	3. 心臓・血管作用薬		
5	4. 抗炎症薬		
6			
7	5. 呼吸器系作用薬		
8	6. 消化器系作用薬		
9			
10	7. ホルモン系・生殖系作用薬		
11			
12	8. 抗感染症薬		
13	9. 抗悪性腫瘍薬		
14	10. 漢方薬		
15	筆記試験（90分）		

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 吉岡充弘他：疾病のなりたちと回復の促進 3 薬理学 系統看護学講座 専門基礎，医学書院，2018. 2. 井上智子他：臨床薬理学 系統看護学講座 別巻，医学書院，2017.
評価の方法	筆記試験 100% 100 点(90 分)
アドバイス ・その他	

授業科目	微生物学	講師名	藤澤隆一 川合 覚	単位 1 単位 時間 30 時間	時期 1 年次前期
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験			
<p>科目目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒトの疾病の原因となる細菌、真菌、ウイルス及び原虫・寄生虫の構造や基本的性状を説明する。</li> <li>2. 病原微生物の感染経路、感染のメカニズム及び感染様式を説明する。</li> <li>3. 病原微生物が疾病を引き起こす機序を説明する。</li> <li>4. 微生物の感染に対する人体の生体反応や防御機構、免疫応答について説明する。</li> <li>5. 代表的な病原微生物について、それらが引き起こす疾病を挙げる。</li> <li>6. 代表的な感染症について、それらの原因となる微生物を挙げる。</li> <li>7. 感染症の診断、治療及び予防について概説する。</li> <li>8. 院内感染や日和見感染症について説明する。</li> <li>9. 医療現場での感染対策の基本について概説する。</li> </ol>					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	微生物学序論 原核生物と真核生物、微生物学の歴史、 感染症の現状と問題、新興・再興感染症	講義	藤澤
2	細菌学総論 真菌学総論 細菌の形態と分類、構造、増殖様式、常在細菌叢 真菌の形態と構造、増殖様式、命名法		
3	ウイルス学総論 ウイルスの特徴・基本構造、増殖様式、分類、プリオン		
4	感染と感染症Ⅰ 定義、感染源と感染経路、感染の成立、宿主-病原体関係、 感染症の種類		
5	感染と感染症Ⅱ 微生物の違いによる感染機構の特徴		
6	感染と免疫Ⅰ 免疫の意義、免疫システムの概略、 自然免疫と獲得免疫、MHC、免疫反応のメカニズム		
7	感染と免疫Ⅱ 液性免疫、抗体と補体、細胞性免疫、 免疫応答と免疫寛容、移植免疫、粘膜免疫、アレルギー		
8	原虫・寄生虫感染症 原虫・寄生虫学総論：特徴、構造、分類 主な原虫・寄生虫感染症	川合	
9	感染症の診断と治療法 感染症の検査法・診断 感染症に対する化学療法の基本、薬剤耐性 (AMR)	藤澤	

10	感染症の予防 滅菌と消毒、感染制御、ワクチンと受動免疫療法 感染症法、検疫		藤澤
11	病原細菌と細菌感染症Ⅰ グラム陽性球菌（GPC）、グラム陰性球菌（GNC） グラム陽性桿菌（GPR）		
12	病原細菌と細菌感染症Ⅱ グラム陰性桿菌（GNR）、呼吸器感染症を起こすグラム陰性 桿菌、抗酸菌		
13	主なウイルスとウイルス感染症Ⅰ DNA ウイルス、RNA ウイルスⅠ		
14	主なウイルスとウイルス感染症Ⅱ RNA ウイルスⅡ、レトロウイルス、肝炎ウイルス		
15	筆記試験（90分）		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 吉田眞一他：疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学，系統看護学講座， 専門基礎分野，医学書院，2018.
評価の方法	定期試験、授業参加度（出席状況など）により評価します。
アドバイス ・その他	

2.専門基礎分野－3) 教授内容

## (3) 健康支援と 社会保障制度

授業科目	保健医療論	講師名	山根美智子	単位	1 単位	時期	1 年次通年
				時間	30 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		○	実務経験	看護師			
<b>科目目標</b> 我が国の医療に対する国民の社会的・時代的ニーズを理解し、医療の初使命と医療従事者の役割を認識し、将来医療のプロとなる自己の意識を高める。 プロジェクト学習の方法を修得し、個人学習及び協同学習により課題を達成する。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担当
1	ガイダンス:プロジェクト学習の進め方、ポートフォリオについて	講義 一人思考と協同学習	山根
2	準備: 題材提示「なぜ医療について学ぶか」「今の医療の現状、課題」を知る。 「今考える理想の医療のために必要なことは何か」を考え、取り組みたい課題を決め、チームを編成する	講義	
3		協同学習	
4	ビジョンとゴールの設定: 「どんな医療になって欲しいか」「そのために何をゴールとして提示するか」を決める	協同学習 発表	
5	計画: ゴールまでの戦略、手持ちカードの確認、時間等を計画する。	協同学習	
6	情報リサーチ	一人思考と思考共有の繰り返し	
7			
8			
9	制作: プレゼンテーション準備	協同学習	
10	プレゼンテーション	発表	
11			
12	再構築: プロジェクトの「成果物」として各自の「凝縮ポートフォリオ」の作成 成長確認: 獲得した能・考え方・スキル等の確認、自分の変化や変容を自覚する。	一人思考	
13	リレー・フォー・ライフへの参加によりがん患者への医療及び社会の支援について考える。	プログラムへの参加 振り返り	
14			
15			

#### テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト: 1. 小泉俊三他: 系統看護学講座 別巻 総合医療第3版, 医学書院, 2021.
評価の方法	ループリックによる評価 80% (取り組み姿勢、ポートフォリオ、凝縮ポートフォリオ、プレゼンテーション、自己成長レポート等) リレー・フォー・ライフ参加とレポート 20%

アドバイス ・その他	プロジェクト学習は、卒業後に臨床で判断したり、家族に説明したりできる看護師になるためには、正解ありきの「与えられた学び」ではなく、「意志ある学び」をし、生涯学び続けるための学びである。 自ら課題を発見し、解決していくことを各フェーズの進行により学ぶので、積極的に取り組み、自己の成長を確認する。
---------------	--



授業科目	公衆衛生学	講師名	三浦 善憲	単位	2 単位	時期	1 年次通年
				時間	45 時間		
実務経験のある 講師による授業科目		実務経験					
科目目標 1. 公衆衛生と健康の概念について理解できる。 2. 健康に関係する統計データから、集団における健康状態を判断する視点を養う。 3. 人々の疾病の予防・改善および健康増進につながる公衆衛生活動が理解できる。 4. 地域の公衆衛生活動における看護師の役割について考えることができる。							

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	健康の概念と公衆衛生学	講義	三浦
2	人口統計と保健統計		
3	疫学		
4	環境保健		
5			
6	産業保健		
7			
8	感染症		
9			
10	食品衛生		
11			
12	国民栄養		
13			
14	母子保健		
15	学校保健		
16	成人保健		
17	高齢者保健		
18	社会保障と社会福祉 (公衆衛生活動との関連を考える)		
19	精神保健と障害者保健		
20	衛生行政と地域保健		
21	国際保健		
22	まとめ		
23	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松木英明編：よくわかる専門基礎講座 公衆衛生, 金原出版, 2021.</li> <li>2. 一般財団法人厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2021/2022, 2021.</li> </ol>
評価の方法	筆記試験 100%
アドバイス ・その他	<p>先行する「地域と暮らし」や「地域とくらしの実習」等で人の生活を知り、「微生物学」では病原と感染についての知識を得ました。これらの知識をもとに、この授業では、地域社会の人々の健康を保持するための組織的な衛生活動を理解していきます。</p> <p>また、並行する「生活と環境」では、健康に影響を及ぼす環境因子について、「社会保障と社会福祉」では、すべての人々が健康な生活を送るための制度やその展開方法を学修していきます。本授業と関連させながら学修していくとより理解が深まるでしょう。</p>

授業科目	関係法規	講師名	降旗 幹子	単位 1 単位	時期 1 年次後期
				時間 30 時間	
実務経験のある講師による授業科目		○	実務経験	保健師・看護師	
科目目標 1. 医療保健福祉に関する主な法規について理解できる。 2. 看護職の基本となる保健師助産師看護師法及びそれに関する法規が説明できる。 3. 看護職としての法的責任の基本を理解できる。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1	法規の概念 1. 法規の概念・衛生法規分類 2. 厚生労働行政	講義	
2 3	看護法 1. 保健師助産師看護師法 沿革、目的、定義、免許、相対的欠格事項、試験、 学校・養成所、業務、研修、義務 2. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義 デスカッション「看護師に課せられるもの」	
4	医事法① 医療法 目的と理念、病院・診療所、医療安全の確保等	講義	
5	医事法② 医療関係資格法 医師法、薬剤師法、歯科医師法等	講義	
6 7	保健衛生法 1. 地域保健法 2. 健康増進法 3. 分野別：母子保健法、精神保健福祉法、学校保健 安全法、がん対策基本法、自殺基本法、難病法等	講義 デスカッション「生活の中にある健康増進法の規定は」	
8	予防衛生法 1. 感染症法 2. 予防接種法 3. 検疫法	講義 課題「感染症法を学び思ったこと」	
9	薬務法：毒物及び劇薬取締法等 環境衛生法①〈食品衛生〉 1. 食品衛生法 2. 食品安全基本法	講義	
10	環境衛生法②〈生活関係〉 1. 水道法 2. 下水道法 3. 墓地埋葬法等 環境衛生法③〈環境法〉 1. 環境基本法 2. 地球温暖化対策推進法 等	講義	
11	社会保険法 1. 社会保険の目的と種類 2. 医療保険の関係法 3. 介護保険法 4. 年金	講義	
12	福祉法 1. 福祉の基盤：社会福祉法、生活保護法 2. 分野別：児童福祉法、児童虐待防止法、老人福祉 法、高齢者虐待防止法、障害者基本法、障害者総合支 援法	講義 デスカッション「児童虐待を考える」	

13	労働法 1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 等 社会基盤 1. 個人情報保護法 2. DV 防止法 等	講義	
14	法と医療のつながりの実際	グループワーク (2人1組)「法と医療のつながり」	
15	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	<p>テキスト</p> <p>1. 森山幹夫：系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令, 医学書院, 2021.</p> <p>2. 一般財団法人厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2021/2022」 2021.</p> <p>参考書：</p> <p>医療情報科学研究所：公衆衛生がみえる 2020-2021 第4版, メディックメディア, 2020.</p>
評価の方法	筆記試験 70% 課題レポート 15% グループワーク 15%
アドバイス ・その他	<p>・アドバイス： 現代社会で起こっている事象や課題に興味をもつことで、医療・看護と法が更に理解できると思います。</p> <p>・授業のフィードバック： 授業ごとにリフレクションシートを記載し、疑問点については次回の講義時にコメントする。</p>

授業科目	社会保障と 社会福祉	講師名	野口 悦紀 小平 大夢 稲見 聡 黒子 千代子	単位 2 単位	時期 1 年次後期
				時間 45 時間	
実務経験のある 講師による授業科目	○	実務経験	精神保健福祉士・社会福祉士		
科目目標 1. 社会福祉の理念について理解する。 2. 社会福祉・社会保障制度について理解する。 3. 社会福祉サービスを必要としている対象者に、どのように施策を展開しているかを理解する。 4. 各サービスを担う専門職の役割を理解し、保健・医療・福祉の連携について認識する。					

#### 授業内容と方法

回数	授 業 内 容	方 法	担 当
1 2	1. 社会保障制度と社会福祉 1) 社会保障制度について 2) 社会福祉の法制度について 3) 社会福祉の歴史 (1) イギリスの社会福祉の歴史 (2) 日本の社会福祉の歴史	講義	小平
3	2. 現代社会の変化と社会保障制度・社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向	講義	小平
4 5 6	3. 医療保障 1) 医療保障制度 2) 健康保険と国民健康保険 3) 高齢者医療制度 4) 保険診療のしくみ 5) 公費負担医療 6) 国民医療費	講義	野口
7 8 9	4. 介護保障 1) 介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 2) 介護保険制度の概要	講義	小平
10 11	5. 所得保障 1) 所得保障制度のしくみ 2) 年金保険制度 3) 社会手当 4) 労働保険制度	講義	野口
12 13	6. 公的扶助 1) 貧困・低所得問題と公的扶助制度 2) 生活保護制度のしくみ 3) 低所得者対策	講義	野口
14	7. 社会福祉の分野とサービス	講義	稲見

15	1) 高齢者福祉		稲見
16	2) 障害者福祉		
17			
18	3) 児童家庭福祉	講義	黒子
19	4) 少子化対策と子育て支援 5) 子どもの人権と虐待・貧困		
20	8. 社会福祉の実践と医療・看護		
21	1) 社会福祉援助とは	講義	野口
22	2) 個別援助技術		
	3) 集団援助技術		
	4) 間接援助技術と関連援助技術		
	5) 社会福祉援助の検討課題		
	6) 社会福祉の実践と医療・看護との連携		
23	筆記試験		

テキスト・評価方法・留意点等

テキスト等	テキスト： 1. 福田素生他：系統看護学講座, 専門基礎分野, 社会保障・社会福祉, 健康支援と社会保障制度③, 医学書院.
評価の方法	筆記試験 100% 配点 1～13：58 点満点、14～22：42 点満点
アドバイス ・その他	